

山下地区

山下地区別計画推進策定委員会

地域 西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町

緑区の北側に、恩田川と鶴見川に挟まれた形で東西に長く位置し、北西側は青葉区、北側は都筑区に隣接しています。市街化調整区域が多い田園地帯で、丘陵地に市営住宅や戸建の住宅が並んでいます。

山下地域交流センターや山下みどり台小学校コミュニティハウスが活動の拠点となっています。また、特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの福祉施設が多くあります。

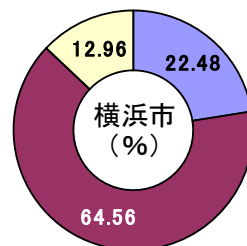
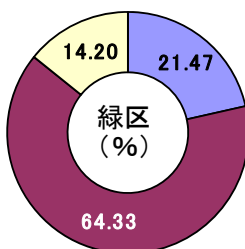
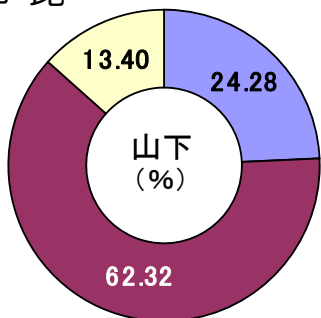
<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）、青葉台駅、藤が丘駅（東急田園都市線）
 震災時避難場所（地域防災拠点）：山下小学校、山下みどり台小学校
 地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ、地域包括支援センターふじ寿か園

<年齢区分別人口>

平成26年(2014年)9月末

人口比



75歳～	2,003人
65～74歳	2,018人
15～64歳	10,321人
6～14歳	1,357人
0～5歳	863人
合計	16,562人

75歳～	16,899人
65～74歳	21,462人
15～64歳	114,942人
6～14歳	15,723人
0～5歳	9,654人
合計	178,680人

75歳～	381,069人
65～74歳	455,152人
15～64歳	2,401,961人
6～14歳	293,856人
0～5歳	188,228人
合計	3,720,266人

地区別計画推進策定委員会の開催

第1回

平成26年6月26日

19:00～21:00

山下地域交流センター

- 第2期3か年の振り返り
- 地域課題を考える会
- 今後の取組について

通信No.7発行

第2回

平成26年11月26日

19:00～21:00

山下地域交流センター

- 第2期計画の推進状況や課題の確認
- 第3期計画に向けた取組について

通信No.8発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成26年度地区別計画推進状況



山下地区



もっともっと素敵な街
山下地区 を目指します！

山下地区では、**3つの目標**を掲げ、まちづくりに取り組んでいます。

平成26年度の主な取り組み

「連合自治会だより」の発行、「地区社会福祉協議会 広報紙」の創刊、統一した「防災ささえあいカード」の活用など、『必要な「情報」が入手しやすいまちづくり』に向けた取組を進めました。

また、『地域での「つながり」を大切にするまちづくり』では、各種体操教室、体育祭、スポーツ行事などを通じた交流を深め、『「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり』では、デジタル無線機の充実などにより、情報収集・更新を計画的に行ない、取組の充実を図りました。



(写真：「山下連合だより」)



(写真：「第2回地区別計画推進策定委員会」の様子)

次期計画の策定に取り組んでいます！

平成28年度から始まる「みどりのわ・ささえ愛プラン」第3期計画の地区別計画策定に向けて、地区別計画推進策定委員会では、意見交換やアイデア出しを行ない、地域の課題解決を目指した次期計画の素案作成に取り組んでいます。

山下地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●スポーツ推進委員会 ●青少年指導員会
- 保健活動推進員会 ●民生委員児童委員協議会 ●消費生活推進員会 ●主任児童委員 ※順不同

これからも
『情報共有』『つながりづくり』への取組を継続し、
もっともっと素敵な山下地区を目指します！



山下地区別計画推進策定委員会



山下地区別計画推進策定委員会
平成26年7月発行 No.7

山下地区別計画推進策定委員会通信

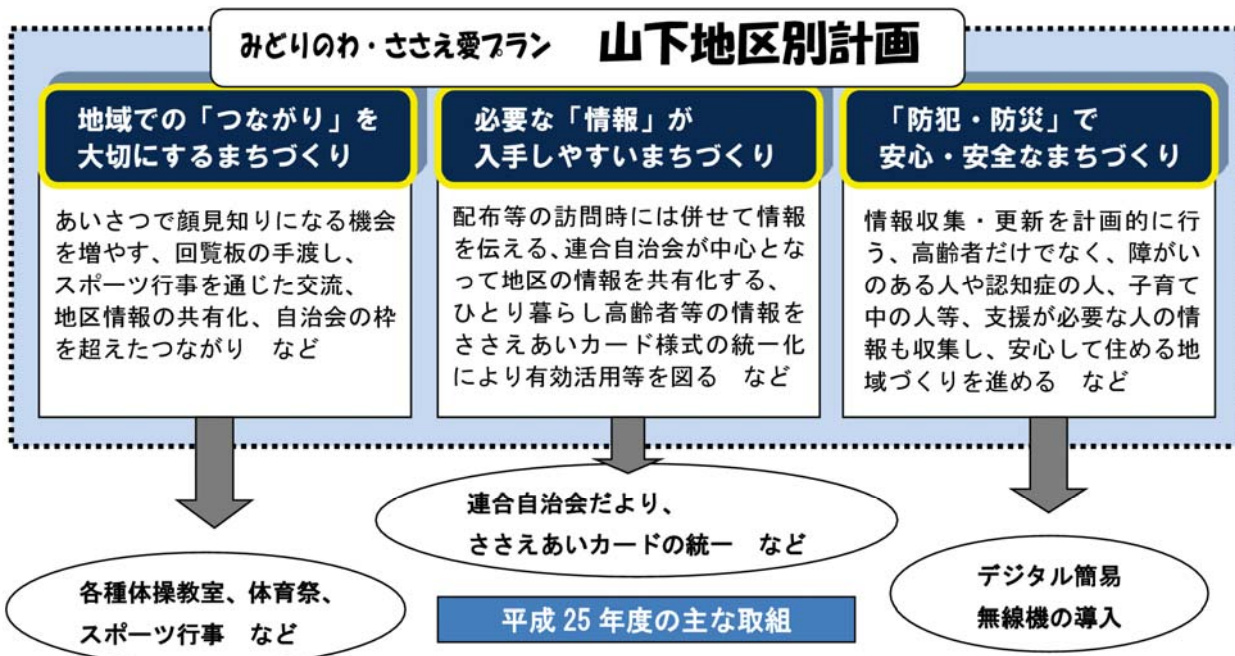
第一回「山下地区別計画推進策定委員会・地域課題を考える会」同時開催！

平成26年6月26日（木）19時～21時山下地域交流センターにおいて、
今年は、緑区初の試みとして、「地区別計画推進策定委員会」と「地域課題を考える会」を同時開催しました。

当日は、委員と各地区の子ども会から代表者が参加しました。第一部では、山下地区の課題と目標を再確認。これまでの取組みを、スクリーンで写真などを見ながら振り返り、課題の共有と解決にむけた進め方等について意見交換を行いました。第二部では、子ども会と自治会の連携による地域の活性化・つながりについての活発な意見交換がされました！（⇒裏面に続く）



地区別計画推進策定委員会の様子



【平成26年度 山下地区別計画推進策定委員】（平成26年6月24日現在）（50音順 敬称略）

○荒谷孝道、井上和子、内山智勝、岡 全成、小熊富美、河田早美、久米元夫、古田土勝雄、小柳新一、篠崎 慧、□田中達也、谷井春夫、□仲原富士夫、□堀内倭文子、増田 徹、松田 弘、□松本耕一、本橋吾朗、□森 智恵子、山崎牧子、渡邊 鉄（○印：委員長、□印：新任）



冒頭、区から二つの会の趣旨・目的が説明され、荒谷連合会長からは、山下地区では子どもに関するテーマを地域の共通する課題であるとしてとらえて継続して検討してきていることから、地域福祉の観点で二つの会を同時開催することになった経緯が説明されました。

第一部 地区別計画策定推進策定委員会

荒谷委員長と井上委員から、今年2月の緑区社会福祉大会で使用したパワーポイントに沿って山下地区の現状と課題、解決に向けた具体的取組について説明がありました。

- ① 25年度は8台のデジタル無線機を導入し、地域のささえあい・つながり・見守り活動に活用。今後も台数を増やす予定。
- ② 山下連合自治会だよりを全戸配布開始。それぞれの活動周知と紙面の活用をPR。
- ③ 10年前から介護予防の取組を「健康体操」（山下みどり台小コミュハ）で継続。それが発展し「元気づくりステーション」が定着・大盛況、2月からは青砥町自治会館でも開始。また、スポーツや健康づくり活動が盛んに行われている。参加者同士が顔見知りになり、「つながり」づくりにも役立っている。
- ④ 二つの防災拠点の防災ささえあいカードを統一した。



②連合自治会だより



③「元気づくりステーション気楽お気楽クラブ」（青砥町自治会館）の様子

第二部 地域課題を考える会

山下地区では過去2年続けて地域課題を考える会のテーマとして「子ども」を取り上げ、子どもたちを中心とした地域の活性化やつながりについて、検討してきました。今年地域課題を考える会では、これまでの流れを受けて、青砥町で始まった自治会による子ども会活動の支援について、成果や課題について発表後、子ども会の現状や課題、未来について活発な意見交換がされました！

【主な意見】

現状・課題・子どもの習い事で週末の行事参加者が減少し、加入率が減少の傾向にある。

- ・子どもが高学年になると役員就任を敬遠するのかわ退会するケースが多い。
- ・1年生の親が役員となるので地域や学校の事が分からないで困っている。
- ・子ども会の役員二人とも男性で小学生の子どもがいない方も担ってくれる。
- ・赤ちゃん訪問員としては他地区より赤ちゃんが多い地域と感じている。
- ・山下地区は子育てしやすい地域なのではないか。

提案・子ども会を活性化させるには、①役員（保護者）の負担を地域で支える（資金、マンパワー、広報…etc.）、②テーブルのように、子どもたちにとって魅力的なプログラムを行う事が大切。

- ・子ども会が活性化することで、子ども会に入りたいから自治会に入るといように副次的に自治会加入促進にもつながる。
- ・連合自治会だよりの中で、子ども会を紹介してもらってはどうか。

*「子ども」をキーワードに子育て世代から高齢者までが協力し、山下地区の地域のつながりを活性化させていくことが確認されました。



今後も、第3期山下地区別計画の策定に向けた検討をしていきます。
みんなの力で山下地区をもっともっと素敵な街にしていきたいと思います！！

<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2282（緑区税務課内）



山下地区別計画推進策定委員会
平成27年1月発行 No.8

山下地区別計画推進策定委員会通信

平成26年11月26日(水)19時~21時
山下地域交流センターにおいて、「平成26年度
第2回 山下地区別計画推進策定委員会」を開催
しました！



地区別計画推進策定委員会の様子

今回は、これまでの振り返りを踏まえて、各委員から
活発な意見が出されました！

次期計画(第3期)策定に向け、これまでの3つの目標を軸にして、さらに充実させていく
ことが方向性として確認されました。現在の取組状況や課題、課題解決に向けたアイデア等の意
見がたくさん出され、充実した会議となりました。(⇒裏面もご覧ください！)

みどりのわ・ささえ愛プラン 山下地区別計画

地域での「つながり」を 大切にするまちづくり

あいさつで顔見知りになる機会
を増やす、回覧板の手渡し、
スポーツ行事を通じた交流、
地区情報の共有化、自治会の枠を
超えたつながり など

各種体操教室、体育祭、
スポーツ行事 など



元気づくりステーション「気楽お気楽クラブ」の様子

必要な「情報」が 入手しやすいまちづくり

各団体の訪問事業等の際に、興
味のある情報や地域行事等の情報
を伝える、連合自治会が中心とな
って地区の情報を共有化する、ひ
と暮らし高齢者等の情報をささ
えあいカード様式の統一化により
有効活用等を図る など

連合自治会だより、地区社会
福祉協議会広報紙の創刊、防災
ささえあいカードの統一 など

平成26年度の主な取組

「防犯・防災」で 安心・安全なまちづくり

情報収集・更新を計画的に
行う、高齢者、障がいのある人や
認知症の人、子育て中の人等、支
援が必要な人が安心して住める
地域づくりを進める など

デジタル簡易無
線機の導入など



山下連合自治会だより

【平成26年度 山下地区別計画推進策定委員】(平成26年11月26日現在)(50音順 敬称略)

○荒谷孝道、井上和子、内山智勝、岡 全成、小熊富美、河田早美、久米元夫、古田土勝雄、小柳新一、
篠崎 慧、田中達也、谷井春夫、仲原富士夫、堀内倭文子、増田 徹、松田 弘、松本耕一、本橋吾朗、
森 智恵子、渡邊 鉄 (○印：委員長)

第3期計画（平成28年度～平成32年度）策定に向け、現在の取組状況や課題、課題解決のための取組等について意見交換を行いました。主なご意見をご紹介します。



【つながりを大切にするまちづくり】

- ・日常的な付き合いが大切だと感じている。顔見知りが増えると、つながりも増えていく。
- ・高齢者が元気で暮らしていける地域になれると良い。
- ・自治会と民生委員児童委員が連携して見守り活動を行っていきたい。
- ・体育祭やティーボールなど、子どもが参加できる活動が活発に行われている。これからは、よりコミュニケーションをとれるよう考えていきたい。
- ・「つながり」は高齢者だけでなく子どもについても大切。もっと子ども会を活発にしたい。
- ・赤ちゃん教室を卒業したママさんたちが集まれる場所を増やせないか。
- ・健康づくり活動（元気づくりステーションなど）をきっかけに、交流の輪が広がっている。
- ・元気づくりステーションでは、欠席した人をみんなで気遣ったり、参加者同士のつながりが生まれている。今年度も赤ちゃん教室とのコラボレーション企画を行いたい。
- ・「健康」についても次期計画に入れていかなければと思う。



【必要な情報が入手しやすいまちづくり】

- ・子育て世代は自治会の取組をなかなか知らない。子育て世代にも情報を届けたい。
- ・「連合自治会だより」をもっと皆さんに活用してもらい、継続していくことで情報共有を図る。
- ・地区社会福祉協議会から「笑顔のたより」第1号を発行した。お楽しみ昼食会や健康教室のPRをし、申込が増えている。今後は全戸配布も検討中。
- ・他の自治会でどんなことをしているのかを知るのも良いのでは。また、うまく運営できている活動など情報交換できると良い。
- ・二つの地域防災拠点で、「防災ささえあいカード」の様式を統一したので有効活用を。

【「防犯・防災」で安心・安全なまちづくり】

- ・老老介護の増加により、独居でなくても見守りが必要なケースが増えている。
- ・自治会全体としての要援護者の把握が必要。
- ・防災ささえあいカードは、自治会長、消防、民生委員で共有しておくことが備えとなる。
- ・デジタル簡易無線機は、防災訓練の際、放水・本部・消火などの連絡にとっても役に立った。来年度も台数を増やし、民生委員にも活用してもらいたい。

●まとめとして、荒谷委員長から、山下地区でのこれまでの取組について、「つながり」「情報」「安心・安全」を大きな柱として、各地域で様々な取組がされていること、具体的な形として見えてきていること、さらに進めて充実させたいことなどが確認されました。



今後、委員会で出された意見を整理し、第3期山下地区別計画の素案としてまとめていきます！

<連絡先> 山下地区別計画推進策定委員会事務局 TEL：930-2282（緑区税務課内）